

一般社団法人 交通工学会
道路安全診断小委員会

道路安全診断の取組み

小早川 悟

日本大学理工学部交通システム工学科

道路安全診断とは

【概要】

道路安全診断は、欧米などの諸外国で導入されている「道路安全監査制度」(イギリスが発祥)の日本版で、道路設計を交通安全の専門家が技術的な観点からチェックして、安全性を向上させる制度

【ポイント】

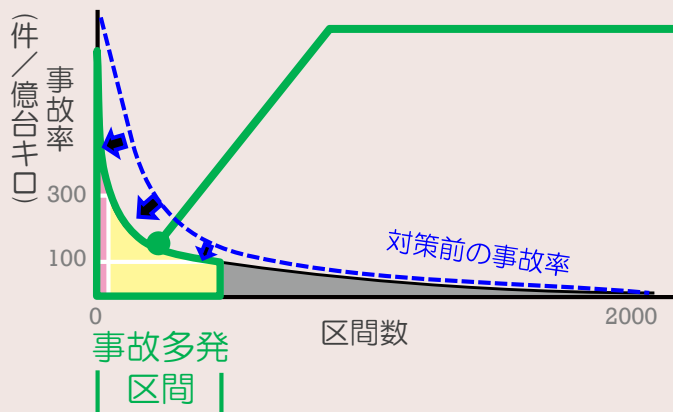
- ①「設計基準を満足しているか」の確認ではなく、「安全な道路設計が出来ているか」の確認
- ②対策設計者(当事者)とは関わりのない、第三者の診断員が安全性をチェック
- ③対策の考え方を、事故多発箇所の対策等の「事故後の対応」から「事故前の対応、つまり予防安全」へ転換

道路安全診断：「日本版」試行の背景

- (従来) 事故が多発する区間に対し対策を実施し効果を発現
- (診断) 更なる事故削減を目指し、複雑な要因箇所に着手

【安全診断で取り扱う事故対策】

<死傷事故率のイメージ>



■従来の事故対策
死傷事故の3割を占める多発区間に集中して事故対策を実施

事故多発区間の解消により
死傷事故件数の大幅削減に寄与

従来の事故対策

危険が潜在する箇所

例えば
・ヒヤリハット箇所
・物損事故多発箇所
など

利用者の声

■安全診断で取り扱う事故対策
事故件数に関わらず、複雑な要因により、
より高度な分析・検討が必要な箇所の事故対策を実施

<道路安全診断>
従来の対策を補完

診断チームをコアとした関係機関・
専門家横断的な情報・認識共有、
チェック、改善、提案が可能

道路安全診断の試行

①全体の枠組み(組織体制)

【アドバイザー会議】

- ・学識経験者(地元地域)
- ・道路管理者(国、県、市等)
- ・交通管理者(警察)
- ・トラック、バス協会
- ・報道機関(新聞等)

【診断チーム(診断員)】

⇒交通安全の専門家チーム

関係機関・関係専門家横断的な診断組織を新たに設置し、「客観的・技術的な視点」から道路の安全性を診断

これまでの
助言

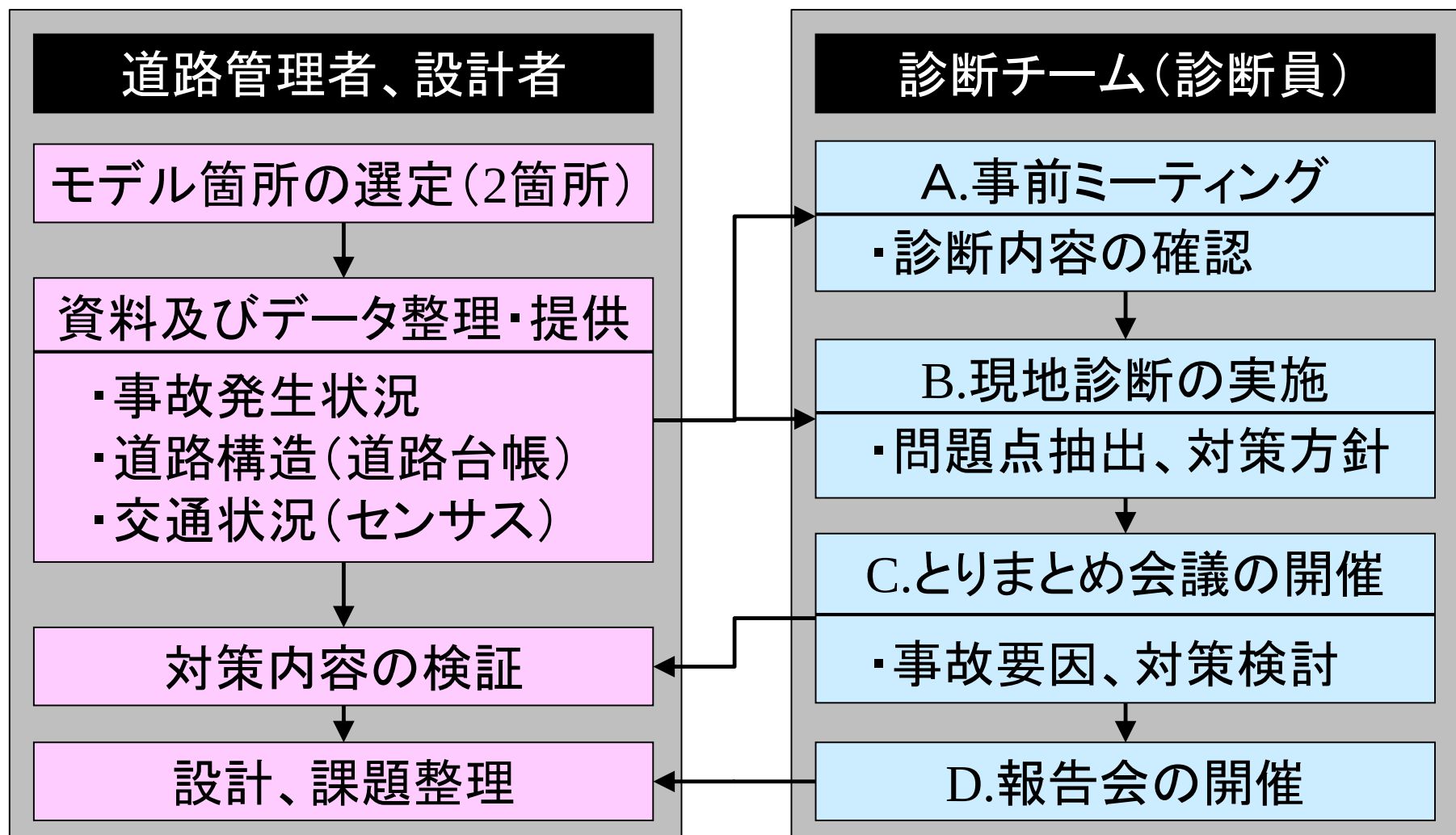
【道路管理者、設計者】

- ・国道事務所
- ・コンサルタント等

助言(報告)

道路安全診断の試行

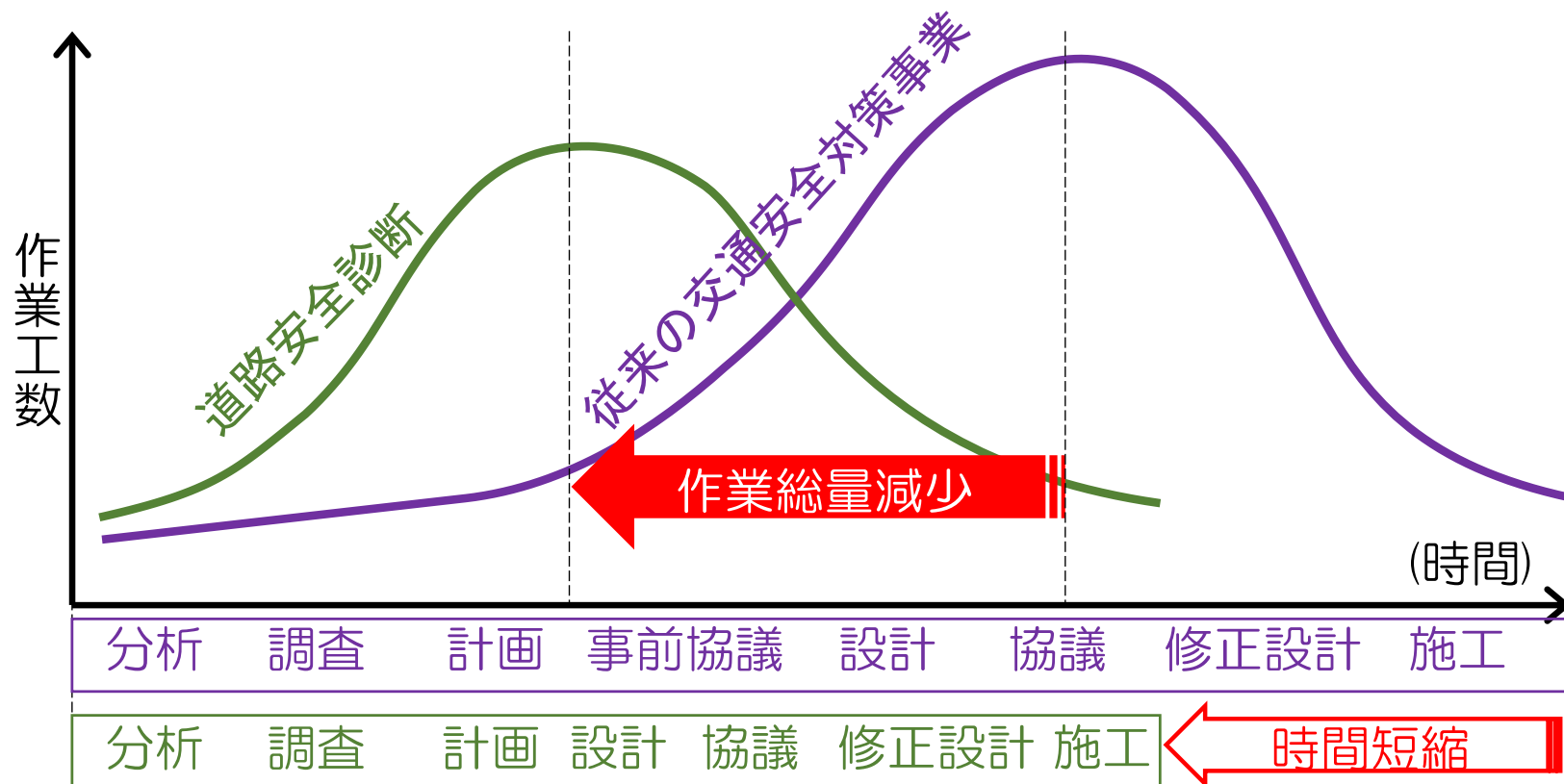
道路安全診断の手順



道路安全診断のメリット(千葉国道-幹線道路)

- ・本取組がフロントローディングとなり、施工に向けた関係機関協議が円滑となり、“生産性の向上”に寄与する

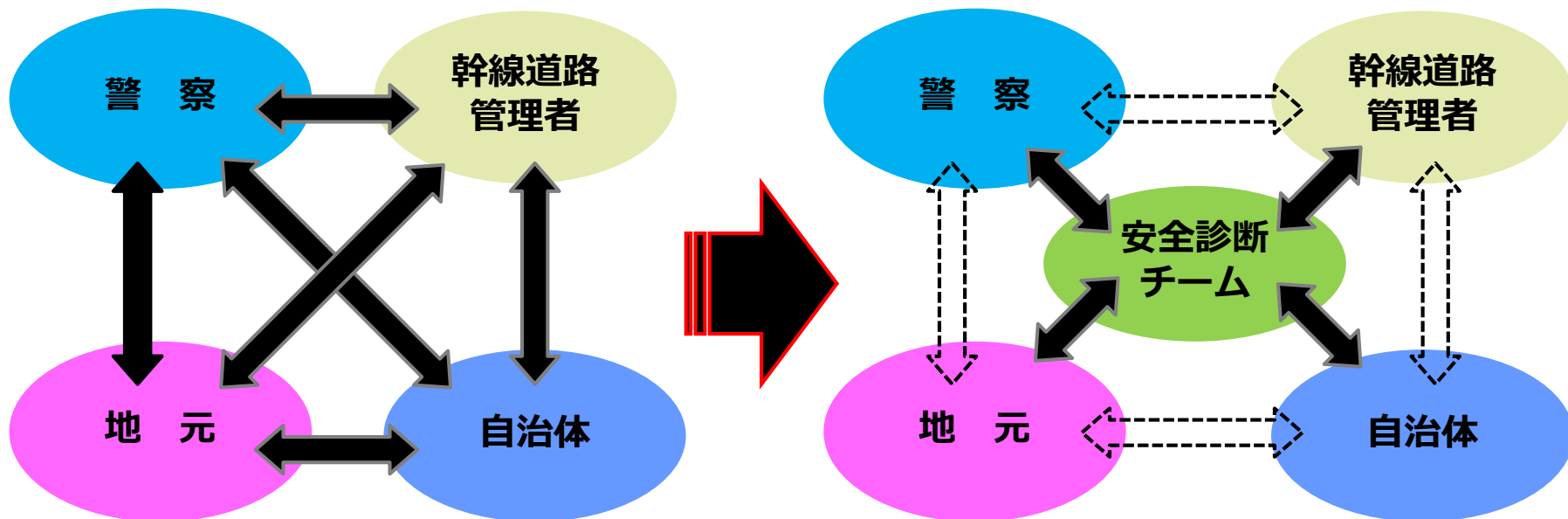
■道路安全診断を活用した事業の作業工数と時間のイメージ



道路安全診断のメリット(千葉国道-生活道路)

- 専門家が主体となり、道路管理者(国、県、市)や警察それぞれがゾーンに与える危険要因を整理が可能
それにより、客観的データや専門的知識と地域の意見や交通実態等を加味したゾーン対策が提示可能となった
- 本取組が関係者間の課題や問題意識の共有を図り、円滑な実施に向けた協働体制が構築された

■これまでの関係のイメージ



道路安全診断

https://www.jste.or.jp/research_activities/self-research/info/diagnosis-for-road-safety/

● 申込先: rsaj@jste.or.jp

「幹線道路における道路安全診断のパンフレット」
－ 交通事故対策の「難題」の解決に向けて－



「生活道路における道路安全診断のパンフレット」

「暮らしの道を安全に」 安心できる地域づくりを支援します



https://www.jste.or.jp/anzen/files/living_road-pamphlet0611.pdf

<https://www.jste.or.jp/anzen/files/kansendoro.pdf>

道路安全診断

https://www.jste.or.jp/research_activities/self-research/info/diagnosis-for-road-safety/

- 申込先: rsaj@jste.or.jp

道路安全診断の紹介動画



https://www.jste.or.jp/research_activities/self-research/info/diagnosis-for-road-safety/

33事例(2023年11月現在 道路安全診断小委員会調べ)

- | | | | | | | |
|------------------|----------------------|---------------------------|--|---|---|--|
| 平成26年度
土木交通大会 | 実施年度 | | 第1回：診断場所の選定、カルテ・チェックリストの確認
第2回：現地診断、診断場所の選定
第3回：要因分析、対策の方向性検討
第4回：対策方法の課題整理 | ・子育て推進課、交通安全課より
・取付道路の状況写真
・案内標識内容変更、右折車線長算出(日本語表示)
・下り線の標識改良
・信号指示の分離 | http://www.jsr.or.jp/anzen/files/01-02.pdf | ・対向直進車道は1車線
・歩行者事故は発生なし |
| 市
横浜西区 | 実施機関 | 消防隊2名
交通安全委員会(交通安全)2名 | 交通管理係
道路管理係 | ・ゾーン30エリアを明確にする(標識・マーキング等)
・干渉市内のゾーン30共通化・標準化(色など) | | |
| 平成16年
浜西交差点 | 対象道路(箇所) | | 第1回：診断場所の選定
第2回：現地診断、診断場所の選定、要因分析
第3回：現地診断、対策の方向性検討
第4回：対策内容の確認 | ・取付道路の通行規制(一方通行化もしくは左折減速のみ)
・交差点内の導流の改良 | | |
| | 診断員・オブザーバーの構成 | | | | | |
| 警察駅南地区 | 実施回数 | 消防隊者2名
交通安全委員会(交通安全)2名 | 宇通試験者
道路路者 | ・歩行者・自転車等の信号設置
・保通く、ペイント設置
・歩行者空間の確保
・小学校周辺の一方通行化、時間帯による進入禁止制の実施
・緑地帯を広く大型車両利 | | 平成27年度 第2回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」
https://www.ktr.milit.go.jp/ktr_content/content/000742384.pdf |
| | 対策メニュー案(診断員提案)および対策図 | | | | | |
| 平成19年
秋編 | 交通工学会研究会の支援 | | 第1回：事業概要、現状実況確認、安全診断
第2回：現場調査、改善案の作成
第3回：事業概要、現状実況確認、安全診断
第4回：現場調査、改善案の作成 | ・オフランプが急勾配、右折車線を付加する
・直進での歩道(遮断機)の確保
・BPR適用、旧道橋梁の異動を行い、通過交通対策を実施
・交通を車道に沿って配置することにより、スロー | | 平成28年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」
https://www.ktr.milit.go.jp/ktr_content/content/000742381.pdf |

ほか